

辺野古土砂北九州

発行…2026年4月号・No.70



3月29日(日)、小倉北区の生涯学習センターにて、井下顕(いのしたあきら)弁護士を講師に、表題の学習会を行いました。豊田秀吉が「朝鮮出兵」を行なわざるを得なかったことや、パワハラで有名になった齋藤元彦兵庫県知事が、以前は「人格者」と言われていた話を元に、軍隊やファシズムの本質に迫るなど、先生のお話はともかく面白く、あっという間の80分でした。全体から見ると部分的ですが、今号で講演の内容をご紹介します。

《目次》

- 【沖縄】辺野古沖の海難事故に寄せて…………… 2 ページ
- 【学習会】井下顕弁護士を迎え《戦争への暴走ストップ学習会》…………… 3 ページ
- 【学習会】参加者のみなさんからの感想文…………… 9 ページ
- 【熊本】健軍駐屯地に長射程ミサイル配備(宗吉信)…………… 15 ページ

写真… 和田知子・藤堂均・宗吉信・八記久美子・他 (敬称略)



発行 「辺野古土砂ストップ北九州」

2026年3月

辺野古沖の海難事故に寄せて

3月16日、沖縄県名護市辺野古沖において、「平和丸」と「不屈」の二隻の小型船が転覆。平和学習中の同志社国際高等学校の生徒さんと、「不屈」の船長が亡くなられるという、大変痛ましい事故が起きました。

私たちは、大切な命が失われたことに対し、心より哀悼の意を表するとともに、ご遺族の皆様にご挨拶とお悔やみを申し上げます。

私たちは、今回の事故を知らせるニュースや記者会見を、大きな衝撃と共に、胸のつぶれるような思いで見ました。

今回の事故で、沖縄の仲間たちは、いくつもの大きな課題を、一つ一つ解決していかなければならないと思います。

私達「辺野古土砂ストップ北九州」も、沖縄の仲間たちに心を寄せて、北九州でできることを取り組んでいく決意です。

辺野古土砂ストップ北九州 世話人一同



当会の会報に「連続エッセイ」を書いていた浦島悦子さんは、「平和丸」「不屈」の運営団体「ヘリ基地反対協議会」の役員をされています。事故の対応等の為、しばらくの間エッセイはお休みさせていただきます。

井下顕弁護士を迎え「戦争への暴走ストップ学習会」 いままで知らなかった…日本国憲法が こんなに素晴らしいものだったなんて

2月8日投開票の衆議院選挙の結果を見て、これは大変なことになったと、世話人会では、平和問題に詳しい井下顕(いのしたあきら)弁護士を迎えての学習会を計画。当日は、笑いありどよめきありの講演となりました。参加者の多くは、これまでも「日本国憲法」について学んでこれたと思うのですが、井下先生の話には、初めて聞く内容がちりばめられていました。

会報では紙面の関係で、先生のお話の一部のみのご紹介となりました。なので、話の流れがちょっと不自然なところもありますが、ご容赦ください。

井下先生には、日程が詰まった中で北九州までお越しいただきましたこと、心から感謝申し上げます。



講師

井下顕(いのしたあきら)弁護士
(福岡県平和委員会代表理事)

■なぜ、パワハラ・いじめが横行するのか

皆さんこんにちは。ご紹介いただきました、福岡市内で弁護士をしております井下顕と申します。本日はお招きいただきありがとうございます。

私、日頃は労働者側の労働弁護士をしていますので、過労死事件とか過労自殺とか残業代とかやっています。大体いま80件ぐらい事件を持っているんですが、そのうち10件ぐらいは、実は自衛官の事件なんです。

昨年の8月に解決しましたが、佐世保(基地)の護衛艦「あけぼの」に乗っていた20歳の自衛官が、「あけぼの」の機関室の中で首をつって自殺された事件がありました。

神奈川県横須賀に、幹部自衛官を育成する防衛大学がありますが、この防衛大学校で「防衛大人権侵害裁判」という、凄まじいパワハラとかが起きました。どうして自衛隊の中では、パワハラとかいじめが横行するのか、起こらざるを得ないのか、そこもお話ししたいと思います。

■私たちが思う以上に厳しい、若者を取り巻く環境

こんどの衆議院選挙で、自民党が3分の2という状況になりました。しかしこれは、

小選挙区制のなせるわざなんですよ。日本の有権者人口は1億人いますので、その1億人のうちの20%の得票、国民の5人に1人の支持しかない。しかし、小選挙区では圧倒的な議席を占めた。なぜ自民党が圧勝したのか？ やっぱり突然の裏切りと言いますか、1番の問題は中道改革連合の問題があるんだろうと思います。

なぜあの「虚構の多数」が生まれていくのか？ そこでの若者の意識、国民の意識は何なのか？ 昨年の参議院選挙で、福岡市の警固公園で行われた参政党の集会に3000人集まったと言われてます。なぜそういう状況が生まれるのかということですよね。

去年特徴的だった事件は破産事件で、20歳前後の若者が相次いで自己破産をするんですが、負債総額がいくらかというとな100万円ぐらいなんですよ。

借入れ先と言えば、「ラインクレジット」とか「ペイペイ」とか、気軽に借りられるところなんです。もちろん「アイフル」とかもあります。一社当たり10万円。そういうところから全部借りて行って100万円くらい。100万円で自己破産と言ったらですね、私の感覚では年金生活をされている高齢者の方なら、裁判所も自己破算を認めてくれます。



■何とか生き延びている「ネットの日雇い労働者」

しかし、今は20代の前半の若者がそういう状況なんです。なぜなのか？ 彼ら彼女らは、毎日タイミーなどの、「ネットの日雇い派遣」なんです。ネットでその日その日の仕事を検索して仕事を見つけ、日銭を稼ぐの繰り返しなんです。そうしてなんとか生き延びている…そういう事件を5件ぐらい受けました。

20歳ぐらいの男性が私に「ようやく抜け出すことができました」と言うんですが、何が抜け出せたのかと言うとですね、「中洲の外食チェーン店でフルタイムのアルバイトにつくことができました」って言うんです。正社員になりましたってことじゃないん



熱心に講演に耳を傾ける参加者のみなさん

です。私たちが思っている以上に今の若者を取り巻く環境は厳しいものがあります。

■どよめき起きた、あるお母さんの話

リーマンショックが起こったのが2008年ですが、警護公園での派遣村の実行委員会に私も入りました。しかし、今の状況は実はそれよりもひどいんです。

私、パートで働く女性の方が「本音を言っていていいですか。職場で私だけボーナスもらえないんです。他の人はみんなボーナスをもらおう。私、爆弾があれば職場を爆弾で爆破したいんです」って言いました。

トリプルワークをしていた女性は、3歳になる女の子を1人で抱えていて、午前中は不動産会社での仕事。夕方から警備会社の車両の誘導員。娘さんを保育園に迎えに行つて、寝かしつけた後、夜中に自転車で遠くのお惣菜工場に行き、朝方帰ってくるんですよ。子どもさんが寝てくれない時は、「睡眠薬を飲ませていくしかないんです」と言われていました(どよめき)。そういう実態が、ずーっと続いているというのが、今の実態なんですよ。

若者から話を聞くとですね、前回の参議院選挙・衆議院選挙で、選択肢として2つ出たのが、日本共産党と参政党で、参政党に入れるという人が多かった。私たちは「えっ!! 真逆の政党じゃないの?」って思いますよね。でも彼らの目には、そうは映っていない。そこが何故なのかと言う事を、我々は見るとすべきなんだろうなあと思います。

■高市首相とマムダニニューヨーク市長

3月19日の高市首相のあの「世界の平和と繁栄を担えるのは、ドナルドあなただけ」みたいな発言ですが、「卑屈な」と言うよりも、なぜ、トランプ大統領に「戦争犯罪だ」と言えないのか。

ニューヨークのマムダニ市長は、民主的社会主義者と言われてます。トランプ大統領の1月のベネズエラ侵略で拉致されてきたマドゥロ大統領が、ニューヨークのブルックリン拘置所に収容された時、マムダニ市長は、真っ先にトランプ大統領に電話をかけ、「あなたがやっていることは国際法違反だ。合衆国憲法にも反している。直ちに釈放しろ」って言ったんですね。すごいですよね。高市首相と全く違うんです。



熱心に語りかけてくれる井下先生

■高市ファシズムとエンゲルス

私は今日のレジュメに、「高市ファシズム」ってあえて書いています。ファシズムっていうと皆さんどんなことを想像されるでしょうか？ 独裁とか議会制民主主義の軽視とかですね。人権の抑圧、国家主義、排外主義…まーこういうものを想像されると思います。「高市政権はファシズムなの」って思われるかもしれませんが、ファシズムだと思います。

よく失われた 30 年って言われます。つまり経済がまったく停滞をする、働く人々の給料が減っていく。しかし、大企業は儲けに儲けている。この失われた 30 年は、小選挙区の 30 年とちょうど重なるんですね。消費税の 30 年とも重なります。



高市首相

自民党が小選挙区のもとで、なぜ独裁が生まれていくのか？ 小選挙区制になると自民党の公認候補は 1 人しか生まれません。公認候補の決定権限は自民党総裁にしかありませんので、自民党総裁にお金も権力もすべてが集中する。そうすると必ずこうした独裁が生まれてきます。

国と国との関係も、国の機関も、全て人間関係と全く同じですよ。人と人々が尊重し合う、リスペクトしあう、大事にする。国と国の問題も同じなんです。この言葉を誰がよく言ったかというとなんてエンゲルスなんですよ。フリードリヒ・エンゲルス。あのマルクスの盟友ですね。

■パワハラ齋藤兵庫県知事…以前は「人格者」と言われていた

兵庫県知事の齋藤さんがパワハラ知事で有名になったじゃないですか。でも、齋藤さんは総務省のキャリアですから、エリートなんですね。

宮城が震災で大変だった時もありましたが、齋藤さんは総務省から派遣されて、宮城県の財政課長や市町村課長を務めたことがあるんです。当時の宮城県知事は村井嘉浩さんですが、当時、村井さんが齋藤さんを称して、「あんなに人格的に優れた人間はいない。あんなに素晴らしい人間はいない」と言った。その人が兵庫県知事になってパワハラやっていく。

つまり人間はですね。変わるんです。地位によって権力によって変わっていきます。パワハラのない職場なんて絶対ないですよ。つまり、人間関係と同じなので、高市独裁は国内はもとより、国際レベルのパワハラを行っていくでしょうね。

■日本の政治の一番の問題「密室政治」

諸外国に比した日本の政治の一番の問題は何かというと、私は「密室政治」だと思います。1970 年代・80 年代によく言われた言葉ですが、「密室政治」とは、国民の目に政

治を見えなくする。例えばある法律を作ろうと思ったら、著名な学者さんたちを集めて審議会を作って、そこで答申をさせて法律を作る…あたかも民主主義の衣をまとったオーソライズ(権限を与えること)されたようなものです。この審議会政治いわゆる密室政治を消費税問題でやろうとしたのが、現在の「社会保障国民会議」ですよ。国民の目から絶対に隠す。何を議論しているか分からなくして政治を行っていく。議会制民主主義の軽視ですね。

要するに彼らの目標は何かというと、権力奪取です。ファシズムっていうのは資本主義社会が危機的状況になったら、国民を暴力的に動員して、新たな資本蓄積を行っていくのがファシズムの本質ですよ。「資本が飼いならすドーベルマン」です。

■スパイ防止法いろいろ

さて、国民を監視しファシズムの流れを加速させる「スパイ防止法」ですが、残念ながら、日本には以前から「スパイ防止法」はあります。それは2013年の「特定秘密保護法」、2017年の「共謀罪法」、そして2024年の「経済版秘密保護法」です。つい2週間前ですが、「国家情報局設置法案」も閣議決定されました。

じゃ、なんで今更「スパイ防止法」なのかと言うと、それは内閣のもとに、全ての情報を集中させるのが狙いなんです。「スパイ防止法」もさることながら、「国家情報局」を設置するのが、大きな目的なんです。

また、25年5月には、「サイバー防御法(サイバー対処能力強化法・整備法)」が成立しました。この時、現場で対応するのが警察官や自衛官ですが、この警察官を揮権するのが警察庁長官なんです。

戦前の日本では、中央集権的な特高警察や弾圧部隊のもとに国民の人権が侵害されましたから、戦後は、そういう中央集権的な警察を解体して、自治体警察をつくったんです。市にも村にも自治警察があった。ただそれだと広域犯罪に対応できないので、都道府県警察制度になったんです。今までは権力を分散してたんです。警察庁長官はそうした都道府県警察の調整機能の役割を担うだけだったのに、この長官に具体的なサイバー防御の指揮権を持たせました。

実はこれ自衛隊も同じなんですよ。自衛隊は去年の3月に「統合作戦司令部」っていうのができました。統合作戦司令官という、現場の指揮をとる最高部門が生まれたんです。これまでは、



統合幕僚長という人がいて、防衛大臣を補佐したり、様々な訓練計画を立てたり、予算を編成したりする…そういう行政部門のトップ。いわゆる軍政部門です。

統合作戦司令官というのはですね、現場の部隊を指揮する最高司令官です。自衛隊は去年までは軍政部門しかなかったのに、軍令部門のトップが新たにできた。この意味するところはものすごい。なぜならば、あの侵略戦争は軍令部門の暴走なんです。残念ながら、これが今の日本の自衛隊の到達なんです。

■ファシズムが今吹き荒れるのは、野党共闘が怖いから

じゃあ、そのファシズムがなぜこの日本で今吹き荒れるのかと言えば、端的に言えば野党共闘なんです。野党共闘はこの社会を大きく変える。支配する側には、非常に恐ろしい存在でした。

いま世界中で、労働者階級の力がどんどんどんどん高まってきて、労働者の反抗を抑圧できなくなってきたから、力による支配が行われる。そして、権力者と労働者階級の攻めぎ合いになる。

一方でいま日本は「戦争する国づくり」という言葉では語れない状況にある。つまり、戦争を必要とするようになってきてるだろうと私は思います。

■豊臣秀吉は、なぜ朝鮮出兵をしたのか

豊臣秀吉はなぜ朝鮮出兵したのか？ それは当時すでに戦争を必要としていたんだろうと思います。豊臣秀吉は中央集権を果たしました。当時の武士階級っていうのは、世界最強の軍事集団です。しかし、その軍事集団が活躍する場がないわけです。食べさせる場がないわけです。そうすると当然、余った力を外部に向ける。戦争への衝動っていうのはあるんだろうなと思います。



「朝鮮出兵」をしなければならぬ理由があった秀吉

1961年に、当時のアメリカ大統領・アイゼンハワーが退任する時の演説で、「軍産複合体に注意せよ」という話をしたんですね。軍隊と産業界。この複合体がアメリカを必ず戦争国家として、国民を経済の犠牲にしていくと警告を發したんですけども、そのことが今のアメリカに言えますし、日本もそうした社会になりつつある。

今はもう、「対米従属」と言わずに、「対米隷属」奴隷の「隷」ですね。残念ながら外を歩いていच्छる方100人に、「今の体制をどう思いますか？」って聞いたら、安保体制を破棄した方がいいという人は1人くらいしかいないと思います。また、日米安保体制に

対し、明確に反対の旗を振っている政党は、ほとんどない。

■世界中の憲法学者が最高峰と認める「日本国憲法」

今から 20 年ほど前に、アメリカの憲法学者が、世界中の憲法 189 典を調べたところ、憲法の人権カタログ(80 近くある人権目録… 基本的人権に関する詳細な規定)トップ 20 を全部網羅しているのが、日本国憲法なんです。人権を守るために、国家権力をぐるぐる巻きに縛る鎖。日本国憲法にはこの人権の種類がいっぱいあるんですね。

どの国も持っている人権というのが、宗教を信仰する自由。これが全世界 99.8%。その他、表現の自由とかいっぱい人権があります。ちなみに、全世界で 2 カ国しかもっていない人権、それはなんと「武装する権利」なんです。銃を持つ権利…アメリカともう一つどっかの国です。



この「あたらしい憲法のはなし」は、日本国憲法を学ぶために、新制中学 1 年生用の社会化の教科書として、数年間発行された。

■こんな憲法、二度と現れない

その他にも、日本国憲法は憲法 28 条で労働組合を正面から認めています。労働組合を憲法に書き込んでいる国は 3 分の 1 くらい。絶対主義的平和主義に立っていて国民の生存権も守ってる。この 2 つの人権をしっかり持っている国は、日本しかありません。日本国憲法は、「奇跡の憲法」と言われていますが、もう二度と、こんな憲法は現れないんじゃないでしょうか。

たとえば、憲法 24 条は、男女が同等・平等であるとする条項ですが、男女ではなく「両性」という言葉が使われています。言葉一つ一つをとってもですね、ものすごく磨かれています。

■フィリピンで JICA が証明した、九条の力

憲法 9 条の力っていうのはものすごいんです。フィリピンはキリスト教国家ですがけれども、イスラム教も多い。そこで内戦が起こってたんですね。中国とか韓国とかが軍隊を派兵して内戦を終わらせようとするんですが、終わらなかった。ところが、日本の青年海外協力隊で有名な JICA がフィリピンに乗り込んで行って、農業支援や教育支援学校をつくる…こういう作業をした。ところが、JICA はゲリラの攻撃を一切受けなかった。なぜならば憲法 9 条があるからなんです。憲法 9 条があるから信頼されるんで

す。平和をつくれるんです。そこの部族長は自分の娘に「ヘイセイ」と言う名前を付けたそうです。

支配層はこの憲法9条の素晴らしい力を宣伝してはくれませんから、この憲法9条がいかにか大きな力を持つてるかっていうのは、私たち市民がやっぱり言っていないといけないんです。



■12条には「国民の不断の努力によってこれを保持しなければならない」と

憲法を皆さん是非もう1度読み直してみてください。例えばですね、日本国憲法は排外主義に立つたと排外主義を戒めています。これは憲法の前文に「われらは、いづれの国家も、自国のことのみに専念して他国を無視してはならない」とあるんです。

憲法の性格を変えたい…ここに支配層の本当の狙いがあるんだろうと思います。憲法というのは、ご存知の通り、国民の権利を守るために悪さをする権力、暴れ回る支配層をぐるぐる巻きにする鎖なんですね。そ

れでみんなの権利を守る。

戦争を引き起こすのは常に権力者。戦争を必ず権力者は起こします。とりわけ軍拡競争の中で犠牲になるのは常に国民です。

日本国憲法ほど、権力をしぼる鎖になっている憲法は、世界広しと言えどもない。そして私たちも、その武器は研ぎすまさなければいけない。だから憲法12条には、この憲法が国民に保障する自由及び権利は、「国民の不断の努力によってこれを保持しなければならない」と書いています。権力は必ず腐敗するし必ず悪さをする。だから、国民の不断の努力が必要だと書き込んでるんですよ。すごい憲法だと思います。

■若者に伝えよう「苦しさの根源にあるのは自己責任じゃない」と

一方で私たちは特に若者に、「苦しさの根源にあるのは自己責任じゃないよ」と、言っていないといけない。

私たちは憲法を守ろうと言います。でも若者には響かない。「憲法を守るって俺たち関係ないしな」って。守るっていう言葉が若者には響かないんです。なぜならば彼らは守られていないからです。

2006年安倍第1次政権の時に教育基本法が改悪され、愛国心教育がはびこりました。

また力が強ければ、森友学園とか権力者が好き放題やっても何もお咎めなしなんです。若者はこういう社会を生きてきた。一方では自己責任を問われ、自分はタイミー

でその日暮らしを余儀なくされる。だから、力が強い人に何とかしてほしい。参政党や自民党や強いリーダーに引かれるんです。

だからこそ、「あなたたちの生活の苦しみがどこにあるのか?」「日本の大企業を優遇してきた日本の政治じゃないんですか?」「アメリカ言いなりの政治にあるんじゃないですか?」と、このことを語っていかねければなりません。

1960年代の合言葉に「諸悪の根源日米安保」と言うのがありました。今は、この言葉をネットで調べても出て来ません。苦しみの根源をやっぱりしっかりと語っていくしかないと思います。このことをしっかりと掴んで離さないというのは、大事だと思います。

■大事なのは、「生活の苦しさ」と「戦争国家づくり」を結びつけること

「難しいことを優しく、優しいことを深く、深いことを面白く…」これは、みなさんご存じの井上ひさしさんの言葉です。学ぶ本質を理解する。それを、誰にでも分かりやすい言葉で語り、時にユーモアを交えながら誠実に語る。

だって、高市さんは、憲法と言うのは「国の形」「国の理想を示すもの」って言って、憲法が、「国民の武器」だとか「支配層を縛るもの」とは言わない。

ここにいらっしゃる皆さんは、「当たり前のことを言ってるな」と思われるかもしれませんが、一歩外に出て、通りすがりの人たち100人に言ったら、99人は知りませんよ。

私たちが当たり前を感じていることを、国民の多くは知らないです。

それと、国民の生活の苦しさで貧困ですね。国民の生活の苦しさで戦争国家づくりをしっかりと結びつける。



井下先生、貴重なお話をありがとうございました。

2027年以降の所得に対して「防衛所得税1%」が導入されますが、これからどんどんどんどん増えていくと思います。消費税はおそらく、経団連が言っている18%に上がっていくかもしれません。

なぜならトランプが言うGDP比5%。これは35兆円ですから、国民1人あたり28万円の負担になります。この「生活の苦しさ・貧困・戦争」は、古くて新しい問題です。ここを、しっかりわかりやすく伝えていかねばならないんだらうな、と思います。というところで、脱線しつつも80分で終わります。みなさん、ご清聴ありがとうございました。(大きな拍手)

ご参加のみなさん
感想を
ありがとう
ございました



※みなさんの感想をご紹介したいと、感想文を一生懸命読みましたが、どうしてもわからない部分がありました。わからない所は〇〇としています。また、間違っ
て打っている部分がありましたら、ご容赦ください。

- 憲法のことをもっと学習していきたいと思います。体力は弱っていますが、出来るだけ集会等には参加していきたいと思います。(八幡西区・80代)
- どうしても子どもが眠らないときには睡眠薬を使い、3歳の子を一人残して三つ目の夜中の仕事に出かけていくお母さんの話は、これまでいろいろ聞いてきた話の中で一番衝撃的でした。また、若者が100万円の借金で自己破産する話など、世の中がどうにもならないぎりぎりの所まで来ていることを実感しました。また、以前は、「人格者だ。あんなに素晴らしい人はいない」と言われていた斎藤兵庫県知事が、パワハラをする人間に変わっていく仕組み。また、ファシズムが今吹き荒れているのは、野党共闘が怖いからなど、興味深く聞きました。そしてなにより、日本国憲法の素晴らしさを再認識できました。いままでは日本国憲法の素晴らしさの一部しか知らなかったのですね。中身の濃いお話をありがとうございました。(小倉北区・70代)
- 憲法が支配層をしぼるもの、国民が知らない。高市首相は、国の形と言いかえ、マスコミもそれをたれ流し、その上で宣伝を考えることが大切と感じました。防衛費が予算で9兆円、来年度10兆円をこすと思われる。国民一人10万円になる。わかり安い言葉で伝える工夫をしていきたい。(70代)
- 会場の生涯学習総合センターはいろんな人達が利用する。学習会当日は同じフロアの、大ホールでは社交ダンスパーティーが催されて洋楽が流れ、和室からは三味線と太鼓の音が聞こえるという状況の下、学習会は始まった。どうなることかと心配したのだが、講師井下弁護士の明るく爽やかな語り口に集中することができ、外部の音が全く気にならなかった。井下さんが紹介された「難しいことを易しく、易しいことを深く、深いことを愉快地に、愉快なことをまじめに」という井上ひさしさんの言葉どおりの講演であった。終了後、片付けしながら、誰かが「もっと、たくさんの人に聞いて欲しかった、もったいないよね」と言った。同感です。(門司区・70代)
- わかりやすく、ときどきユーモアもまじえてお話くださいました。ありがとうございました。あらためて日本国憲法の価値を認識しました。伝えていく努力をしなければと思います。

- 司法の劣化に弁護士界はどう対応しようとしているのか。
- 今日はありがとうございました。高市政権を打ち破ることが今の国ではないか。戦争は二度としてはならない。高市首相は広島・長崎の原爆の犠牲になったことを学んでほしいと思う→戦争は人間破壊である。平和で暮らせる世の中をのぞんでいます。憲法を変えるのはもつてのほかであると思います。平和はおとずれません。
(門司区・70代)
- 日米安保が諸悪の根源という理由(根拠)を、もう少し具体的に詳しく触れてほしかったです。ロシア、中国、北朝鮮など、日本をとりまく環境がとてもきびしくなりバクとした不安を抱えている人は多いと思います。日米安保がなくてもこれらの国からの脅威○守れるのだというような内容でもあれば、なるほどと思うのですが。
(小倉北区・80代)
- 感動的なお話をありがとうございました。憲法の重さをつくづく思い知らされました。ニュースを見る度、高市ソーリの顔を見てムカつく思いでしたので、先生のお話を聞いてよかったです。
- 労働者側に立って、日々の弁護活動をされているだけに、話の中身が身近で濃かったように思います。九条の会は「憲法を守ろう!」と訴えますが、それと同時に安保体制打破を言わないといけない、いや、むしろ安保体制打破こそ、憲法を守ることだと得心しました。社会科学という言葉は何十年も忘れていました。思い起こさせていただき、感謝です。高校生の頃、先生の脱線聞くのが好きで、それしか記憶に残りませんでした。脱線しながら、ソフトに飽きさせずに話された先生、弁護士だけではもったいない弁護士さんだと思います。(小倉南区・70代)
- 最後のごあいさつにもありましたが、多くの人に今日のお話を聞いて欲しかったと思いました。現状の中に思うことは揺らがない9条につくづく思いを馳せる機会が多いのではということです。日本の戦後教育では、その成り立ちについては、あまり教育なされません。戦争が止まらない今日、そこから問い直していくこと。そして世界は好むと好まざるにかかわらず、平和についての行動をしていくことは基本的なことだと思います。本当に多岐に渡る問題をまとめて話していただき、感謝しています。活動を応援いたします。(門司区)
- 勉強になりました。憲法の勉強も大切だなと思いましたが、やらないといけないことが多すぎて…。1つ1つやっていくしかないと思っています。



- ユーモラスに、チャーミングに語っていただきました。冒頭の自衛官の相談とか、若者の破産とか生々しい話にびっくりしました。お話を通して、憲法を大事に、生かしていかねばと改めて思いました。(八幡西区・70代)
- 井下顕先生へ…多方面にわたりご経験を含めて具体的なお話をありがとうございました。特にここ3~4年間、北九州郊外の曾根駅南口で月に2回ほど憲法9条を守る街宣活動を仲間と行っています。毎回新しい通信を発行しています。50部ほどですがほぼ受け取ってもらっており、女性の仲間が署名を5~10人ほどもらっています。この会は10年以上続けていますが、本日の井下先生の講義に参加してこれからもがんばりたいと思います。本日はお忙しいところありがとうございました。(70代)
- 講演に引き込まれました。憲法ではどうにもならないことがあるのは、日米同盟、日米地位協定・日米安保条約が根底にあるからと理解していました。しかし今日の説明で日本の三角形の裏に、それらの三角形があると言われ納得がいきませんでした。その他現代社会を分析して話されたことが非常に勉強になりました。若い人にぜひ聞いてもらいたいし、その機会と場を作っていかねばいけないとしみじみ思っています。(八幡西区・80代)
- 憲法のすばらしさに感動しました。運動をしっかりと次の世代につなげたいと思います。(小倉北区・70代)
- 私は「イラク裁判を活かす会」で活動していますが、今日の話で、この判決の意味を改めて確認できました。また、憲法がないがしろにされるなかで、憲法を武器に出来るんだ、という勇気をもらいました。参加者が少ないことが残念です。多くの人に聞いてもらう話でした。中、高生の頃から「社会の活性化」「まちづくり」「街の活性化」などの教育を受け、私たちの若い頃との「社会研究」「社会科学」などを学ぶことがないようです。しかし、トランプのイラン侵略戦争、イスラエルのパレスチナ人虐殺などには、おかしいと思っています。
- 井下先生のお話は面白く、憲法の本質について学びました。(門司区・70代)
- 基本を再確認させていただきました。若者の実態が私たちの想像以上に厳しいものだと聞いて驚きました。100万円で自己破産とは想像していませんでした。野党共斗がファシズムのとっかかりになっているという話も以外でした。でもそういうものなのかなというのは権力にとっては共斗というのは恐ろしいものなんだと改めて思いました。共斗の形をさぐらないといけませんね。井上ひさしさんの言葉は深いですね。(八幡西区・70代)



長射程ミサイル配備は許さない！ 熊本・健軍駐屯地での抗議行動

世話人 宗吉 信

3月31日、防衛省は、陸上自衛隊健軍駐屯地(熊本)と富士駐屯地(静岡)に、長射程ミサイルを配備しました。熊本での3月の反対・抗議行動を報告します。



長射程ミサイル配備反対



長射程ミサイル配備反対

3月8日深夜に長射程ミサイルの発射装置等が搬入されるという情報が入り、同日21時30分に駐屯地正門前での集会が呼びかけられました。僕は夜間の運転を避けているのと、寒さの予報に怖気づいて参加しませんでした。が、極寒の中、熊本県内外から百数十人が搬入を阻止するために集まりました。9日0時15分、正門とは別の門から搬入されてしまいましたが、正門からはダミーのトラックを入れる姑息なやり方でした。(左上の写真は正門前、右は搬入される発射機。いずれも現地参加者のツイキャスより)



左…駐屯地正門前から、これ見よがしに展示されるミサイル発射機。

右…3月29日の駐屯地春祭りに集まる市民と、26日から座り込みを続ける日本山妙法寺水俣道場の西川上人。



「長射程ミサイル配備」が宣言される3月31日、朝9時から正門前には抗議行動の人が集まり始め、60人を超えました。10時半には防衛大臣と西部方面総監に対し、長射程ミサイル配備中止を求める熊本県内外の27団体からの申し入れ書を、代表して「平和を求め軍拡を許さない女たちの会・熊本」事務局長で、沖西ネット共同代表の海北由希子さんが読み上げ、手渡しました。

《辺野古土砂北九州・今後の予定》

- 4月25日(土)…《小倉駅前街頭宣伝》16:00～
- 4月29日(水)…《世話人会》14:00～ 生涯学習総合センター・情報学習室
- 5月01日(金)…《メーデー集会》10:00～男女共同参画センター「ムーブ」2F
- 5月03日(日)…《憲法集会》13:30～ 男女共同参画センター「ムーブ」2F
- 5月13日(水)…《会報発送作業》14:00～ 生涯学習総合センター・情報学習室
- 5月22日(金)…《小倉駅前街頭宣伝》16:00～
- 5月27日(水)…《世話人会》14:00～ 生涯学習総合センター・情報学習室

※7月26日(日)に予定している総会準備の一環として、会費が複数年未納の方につきましては、今回の会報に「入金のお願ひ」の手紙を同封しています。ご協力の程、よろしくお願いいたします。



「辺野古土砂ストップ北九州」への入会は

年会費(個人 1000 円・団体 3000 円)です。

カンパ熱烈大歓迎!

【辺野古土砂北九州の口座は】 ゆうちょ銀行 記号番号 01700-7-166911

【他金融機関から振り込む場合は】 ゆうちょ銀行 当座 一七九店 0166911

加入者名…「辺野古土砂ストップ北九州」

【財政・入会・退会に関するお問い合わせは】

090-4482-0043 大野保徳(財政担当)まで。

※領収書は、現金で会費をいただいた方のみお送りし、振り込みの方にはお送りしていません。ご了承下さい。



《辺野古土砂ストップ北九州》

メールアドレス…kanpanerura888k@gmail.com

〒803-0816 福岡県北九州市小倉北区金田 1-3-32-308 八記方

八記 080-1730-8895・南川 090-2853-7116・藤堂 090-6299-2608

2026 年 4 月 8 日発行